

芙蓉総合リース株式会社  
 (コード番号：8424 東証プライム)  
 代表取締役社長 織田 寛明

### 欧州の再生可能エネルギー事業ファンドへの出資契約を締結

芙蓉総合リース株式会社（東京都千代田区、代表取締役社長 織田 寛明、以下「芙蓉リース」）は、欧州の再生可能エネルギー資産を対象とする投資ファンド「Aquila Capital European Balanced Renewables Fund SCSp SICAV-RAIF」（以下「当ファンド」）への出資契約を締結いたしました。

当ファンドは、再生可能エネルギーやサステナブルなインフラを中心に、グループ全体で約123億ユーロ（2021年12月末）の資産を運用・管理する投資・開発会社であるAquila Capital Holding GmbH（ドイツハンブルグ、CEO Roman E. Rosslénbroich、以下「Aquila Capital」）が保有するAquila Capital Investmentgesellschaft mbHによって運営されています。Aquila Capital グループは、世界15か国16拠点に600名を超える従業員が所属し、現地に根差した事業開発・運営を行っております。また、開発から投資運用までをワンストップで行うことができる強みを活かし、総合的なパフォーマンスの向上とESG目標の達成を目指した事業活動を展開しています。

当ファンドは、Aquila Capital が運用・管理する豊富な資産の内、欧州における再生可能エネルギー事業に限定して投資を行うファンドであり、複数の国の多様な電源種類（主に、太陽光・風力・水力）の事業を投資対象資産として組み入れております。

芙蓉リースグループは、2022年度からスタートした新中期経営計画「Fuyo Shared Value 2026」において、CSV（Creating Shared Value：共有価値の創造）の実践を通じた社会課題の解決と経済価値の同時実現により、企業グループとしての持続的な成長を目指しております。当ファンドへの出資により得られた最新の業界動向やノウハウを活かし、再生可能エネルギー分野で巨大な市場規模を有する欧州地域をはじめとした世界の再生可能エネルギー事業へ積極的に参画するとともに、Aquila Capital と連携した多面的なビジネス領域の拡大を目指します。

#### Aquila Capital Holding GmbH の概要

設立	2001年
本社所在地	Valentinskamp 70, 20355 Hamburg, Germany
主要株主	Aquila Holding GmbH (60%) 大和エナジー・インフラ株式会社 (40%)
CEO	Roman E. Rosslénbroich
事業内容	再生可能エネルギーやサステナブルなインフラを中心とした投資運用

AQUILA  
CAPITAL



以上

お問い合わせ先

芙蓉総合リース株式会社 コーポレートコミュニケーション室 (担当) 木村・山崎

電話番号 03 (5275) 8891 URL <https://www.fgl.co.jp/>